

まちづくり工 学科・専攻

No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者		推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考		
							学 年	配架(希望)先		書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年			
								駿河台 校 舎							船 橋 校 舎	
1	日本の町	丸谷才一、山崎 正和	文春文庫	1994	教授	天野光一	1年生			日本の様々な町について、丸谷氏、山崎氏が豊富な知識のもとに、様々な観点から語っている。対談形式であり、資料を参照しながらの話ではないと思うが、彼らの豊富な知識には驚かされる。町を計画するためにはこのような教養が必須であると考え。このような知識だけで、まちを作り上げられるわけではないが、町を読みとくための基本的な態度が学べる。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					
2	風景学・実践編	中村良夫	中公新書	2001	教授	天野光一	1年生			景観という分野をはじめた専門家の中村良夫氏の風景学に関する新書本の2冊目だと思う。中村良夫氏には様々な著書があるが、新書であり、学生にも買いやすい。風景を学ぶ上で重要な書籍の一つである。できれば一冊目の風景学入門とあわせて、2冊とも読むことが好ましいが、こちらの方が初心者向きかもしれない、是非読んでおくべき一冊である。	1	風景学入門	中村良夫	中公新書	1982	
							2年生以上	○			2	都市をつくる風景	中村良夫	藤原書店	2010	
							全学年				3					
											4					
											5					
3	コンパクト建築設計資料集 成「都市再生」	一般社団法人 日本建築学会 編	丸善出版 (株)	ISBNコード】978-4-621-08756-5【発行年月】2014年03月	教授	岡田智秀	1年生			これまで建築空間の基準寸法を網羅した書はみられたが、建築空間とともに公共空間をも包含して都市全体を平面・断面・立面として表現し、都市スケールを具体的に数値として整理した書である。都市の対象も、景観、保存、リノベーション、地区再生、交通再編、環境再生等の現代都市の課題ごとに国内外事例を数多く紹介。事例のbefore-afterや展開手法が解説され、まちづくりや地域再生に取り組む際に参考とすべき情報が網羅されている。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					
4	沿岸域環境用語事典	日本沿岸域学 会編	共立出版	ISBN978-4-320-07414-9発行 2004年	教授	岡田智秀	1年生			1977年第3次全国総合開発計画において陸と海をまたぐ第三の国土空間として「沿岸域」なる語が誕生し、沿岸域の開発整備と環境保全の両立の重要性がうたわれた。本書はそのビジョンを構築するために必要な11分野220項目を取り上げ、環境・生態、地理・地質、防災・土木、港湾・交通、船舶、水産、都市・建築、造園、観光・レクリエーション、歴史・文化、産業・政策という多面的キーワードを最大成し「海辺のまちづくり」で必携書となる。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					

5	生活の視点でとく都市計画	葉袋奈美子・室田昌子・加藤仁美	彰国社	2016	教授	小木曾 裕	1年生			都市計画は難しいと考える学生はこの書を読み眺めると、なるほどそう考えれば良いかと頷けるはず。日々の暮らしや住まいの視点から生活する「場」として、あるべきまちの姿を理解することができる。近代以降の歴史的な経緯を踏まえ、価値観の領域まで含めた現代的な課題にアプローチがされ、見開きA3版で各単元が構成されている。各テーマの冒頭の解説でポイントを示し、図版の構成もわかりやすくレイアウトしている。	1	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するか	村上 敦	学芸出版社	2017	
							2年生以上				2	サステナブル都市の輸出	和泉洋人・城所哲夫・瀬田史彦（編著）	学芸出版社	2017	
							全学年	○	○		3	「かわいい」工学	大倉 典子	朝倉書店	2017	
											4	まちづくりの仕事ガイドブック	饗庭伸	学芸出版社	2016	
											5					
6	造園植栽術	山本 紀久	彰国社	2012	教授	小木曾 裕	1年生			本書は著者の長年にわたる、植栽計画・設計、設計監理・施工・維持管理の経験を踏まえ体系化がなされている。造園植栽の植生と風景、植栽監理と運営等への対応に特徴がある。植栽手法は自らが手がけた事例を基に解説し、設計思想と自筆図解からも理解しやすく、多くの知見を与えてくれる。精読すると、簡単そうに思われがちな造園植栽手法は、実は多様な知識を持って行っている植栽の意義や技術を学ぶことができ、造園植栽の複雑で奥深い手法を提示してくれる。	1	庭木と緑化樹1（針葉樹・常緑高木）	飯島 亮・安藤 俊比古	誠文堂新光社	1974	
							2年生以上				2	庭木と緑化樹 2（落葉高木・低木類）	飯島 亮・安藤 俊比古	誠文堂新光社	1974	
							全学年	○	○		3	街路樹	山本紀久著	技報堂出版	1998	
											4	造園工事総合示方書	編著：公益社団法人日本造園学会	経済調査会	2015	
											5					
7	水理学	大津岩夫・安田陽一 編	理工図書	978-4-8446-0722-9C3051	教授	後藤 浩	1年生			まちづくり工学科における水理学の参考図書にしている。本図書は大学課程で学ぶ水理学のすべてが網羅されており、授業以外にも、各種資格試験などにたいへん有益な内容が包含されている。	1					
							2年生以上	○			2					
							全学年				3					
											4					
											5					
8	水理学	玉井信行・有田正光 共編	オーム社	4-274-13110-6C3051	教授	後藤 浩	1年生			まちづくり工学科における水理学の参考図書にしている。本図書は、重要な点が抜粋されており、公務員試験のベースとなる項目が整理されている。	1					
							2年生以上	○			2					
							全学年				3					
											4					
											5					
9	なぜイタリアの村は美しく元気なのか	宗田好史	(株)学芸出版	2012	教授	高村義晴	1年生		○	人口減少、少子高齢化のなかで地方や都市がうつむき衰退が危ぶまれるなかで、その対応策は、まちづくりについての喫緊の課題となる。本書は、イタリアの農村を舞台に、観光、食、地域の文化、そしてまちづくりが一体化した「暮らし・仕事、楽しみ・誇り等とまちづくりの融合」の方向を示唆するものであり、現実の問題にたくましくまちづくりが切り込むうえでの視点を与えてくれる。	1	ローカリズム原論	内山節	(和)農山漁村文化協会	2012	
							2年生以上				2	観光まちづくりの力学	安村克己	榊学文社	2006	
							全学年				3	文化と固有価値のまちづくり	池上惇	水曜社	2012	
											4					
											5					

10	空間練習帳	小島一浩 伊藤香織 小池ひろの 高安重一	株式会社 彰国社	987-4- 395- 24011-1 C3352	教授	田中 賢	1年生			書籍のタイトルにあるように建築にフォーカスせず大きく空間として建築からまちまで幅広く捉えて、デザインを考えるワークショップ手法を紹介している。この書籍は、授業とは離れて学生自身が研鑽を積む際に用いるものである。難しい課題はなく、とにかく手を動かすワークがほとんどである。デザイン演習の授業に取り組む前に慣らしに挑戦しては如何だろうか。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
11	デザインの輪郭	深澤直人	TOTO出版	4- 88706- 260-5	教授	田中 賢	1年生			われわれ建築やまちのデザインに取り組む者に対し、デザインの本質について語りかける一冊である。筆者はプロダクトデザイナーであるがモノではなくコトのデザインについて述べており建築からまちづくりまで応用が利くと思う。また、本書にはユニバーサルデザインという文言は一つもないが、これに通じる内容が多くありユニバーサルデザインに関心のある学生には、ぜひ読んで頂きたい一冊である。	1	デザインのデザイン	原 研哉	岩波書店	2003	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
12	図解 橋の科学	田中輝彦, 渡邊英一	講談社	2010	教授	仲村成貴	1年生			普段何気なく使っている橋には、さまざまな形があり、使われる材料もさまざまです。まちの景観にも大きな影響を及ぼす橋が、そもそもどのように計画、設計、施工されるのか？見た目だけでなく、科学的な視点から橋の仕組みがとても読みやすく書かれています。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
13	福祉のまちづくりの検証	日本福祉のまちづくり学会編	彰国社	2013	教授	八藤後 猛	1年生			2011年の東日本大震災をきっかけとして、いま福祉のまちづくりとはなにかを問うものである。そうしたまちづくりのあり方の基本思想から、それを実践するための技術的手法、そして実践例について、日本福祉のまちづくり学会学会員が互いに議論し、協同で執筆にあたった。	1	建築都市のユニバーサルデザイン	田中直人	彰国社	2012	
							2年生以上				2	共生のユニバーサルデザイン	三星昭宏、他	学芸出版	2014	
							全学年	○	○		3	住環境のバリアフリーユニバーサルデザイン	野村 歡、他	彰国社	2015	
											4					
											5					
14	住環境のバリアフリーユニバーサルデザイン	野村 歡編	彰国社	2015	教授	八藤後 猛	1年生			住環境、都市環境整備に関する技術的方法やしつらえ、機器、設備等について紹介したものである。本書の特徴は、排せつする、入浴する、生活を楽しむといった生活行為を切り口として、人間生活から環境デザイン手法に言及しているため、初学者でもわかりやすい。	1	「福祉住環境コーディネーター検定試験®」公式テキスト 2級公式テキスト<改訂4版>	東京商工会議所	東京商工会議所	2016	
							2年生以上				2	「福祉住環境コーディネーター検定試験®」公式テキスト 3級公式テキスト<改訂4版>	東京商工会議所	東京商工会議所	2016	
							全学年	○	○		3	歩行者の道<1>マイナスのデザイン	津田 美知子	技報堂	2002	
											4	歩行者の道<2>通行帯のデザイン	津田 美知子	技報堂	2002	
											5					

15	アメリカ素描	司馬遼太郎	新潮文庫	1989	准教授	阿部貴弘	1年生			まちづくりの要諦は、まちの歴史と文化的確に読み解くことにあるといえよう。そのためには、まちづくりの技術者として、幅広い視野と深い洞察力が欠かせない。本書は、およそ30年前、著者がアメリカの諸都市を訪れた際に目の当たりにした、人工国家とも呼ばれるアメリカの歴史と文化を鋭く読み解いた取材記録である。30年たっても決して古びることのない本書は、まさにまちを読み解く視野を広げてくれる一冊である。	1	この国のかたち1～6	司馬遼太郎	文春文庫	1993～2000	
							2年生以上				2	街道をゆく	司馬遼太郎	朝日文芸文庫	1978～	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
16	ポローニヤ紀行	井上ひさし	文藝春秋	2008	准教授	阿部貴弘	1年生			わが国でも“市民参加のまちづくり”が叫ばれて久しい。しかしその取り組みは、まだまだ成熟過程にあると言わざるを得ない。はたして、市民が自ら住みよいまちを作っていくためには、いかにしてまちづくりに取り組むべきなのか。そのお手本を示してくれているのが、イタリアの小都市「ポローニヤ」である。本書は、ポローニヤのまちとまちづくりの歴史を、ユーモアあふれる筆致でひも解いてくれる。まちに暮らす豊かさとは何かを考えるうえで、必読の書といえよう。	1	あてになる国のつくり方―フツウ人の誇りと責任	井上ひさし	光文社文庫	2008	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
17	緑のランドスケープデザイン	山崎 誠子	オーム社	2013	准教授	押田佳子	1年生			建築デザイン演習で馴染みの山崎先生の著書。ランドスケープデザインを従来の農学的な解釈だけでなく、建築との調和などを踏まえた多面的なアプローチから捉えられている。基礎調査からプランニング、設計に至るまで実践的な内容となっており、授業ではもちろん、社会人になってからも参考書として扱える良書。	1	樹木別に配植プランがわかる植栽大図鑑	山崎 誠子	エクスナレッジ	2013	
							2年生以上				2	世界で一番くわしい住宅用植栽	山崎 誠子	エクスナレッジ	2011	
							全学年	○	○		3	造園がわかる本	赤坂信	彰国社	2011	
											4					
											5					
18	ときめきの観光学	澤渡貞夫	言視舎	2013	准教授	押田佳子	1年生			「観光原論」および「観光まちづくり論」の副読本としてオススメ。多くの事例から「観光」と「観光地」の再生について分析されている。観光系への就職を考える学生にはもちろん、行政や建築系志望者においても観光の振興によって地域の活性化を目指す人にとっては読み応えがある1冊。	1	観光入門	青木義英	新曜社	2011	
							2年生以上				2	新・観光立国論	デービッド・アトキンソン	東洋経済新聞社	2015	
							全学年	○			3	観光学事始め	井口貢	法律文化社	2015	
											4					
											5					
19	インクルーシブデザイン 社会の課題を解決する参加型デザイン	編者 ジュリア・カセム 平井康之 広瀬隆之 森下静香	学芸出版社	2014年 ISBN978-4-7615-2569-9	准教授	依田光正	1年生			ユニバーサルデザインはデザインと社会の極めて理想的な関係を示した理念であるが、その極みに達することは不可能に近い。しかしながら、その理念に向けて様々なデザイン活動の取り組みが行われている。インクルーシブデザインもそのひとつであり、マイノリティをデザインプロセスに取り込んで、当事者だけでなく専門家を含めた様々な気づきを形にするとともに、より多くの人の問題解決を図ろうとするデザインプロセスである。	1	「インクルーシブデザイン」という発想 排除しないプロセスのデザイン	ジュリア・カセム	フィルムアート社	2014	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

20	まち建築 ―まちを生かす36のモノづくりコトづくり―	日本建築学会	彰国社	2014	助教	山崎 晋	1年生			サブタイトルにあるように、モノ(物体)としての建築を「まち」の中でどう「つくり」「使いこなす」か、コト(活動)を「つくる」ことで「まち」にどう生かされているか事例を踏まえながら解説している。建てない時代と言われているが、「まち」の中で「建築」ができることがまだまだあると感じられる一冊。建築や都市空間を「つくる」ことに興味がある人だけでなく、ソフトとしてのまちづくりに興味のある人もぜひ一読して頂きたい。	1	まちの居場所	日本建築学会	東洋書店	2010	
							2年生以上				2	PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた	馬場正尊他	学芸出版社	2015	
							全学年	○	○		3	RePUBLIC 公共空間のリノベーション	馬場正尊他	学芸出版社	2013	
											4					
											5					
21	シェア空間の設計手法	猪熊純・成瀬友梨	学芸出版	2016	助手	落合 正行	1年生			人口減少の今、「まち」に建築物が溢れる時代に、一つの空間を複数で共有(シェア)するという手法は必然的な考え方といえる。この書籍は、「シェア空間」を持つ49の建築作品の図面集であると同時に、これからのシェア空間を考える設計者や計画者のアイデア本である。計画系の講義や演習授業でぜひ活用してもらいたい。	1	ひらかれる建築:「民主化」の作法	松村 秀一	筑摩書房	2016	
							2年生以上				2	「シェア」の思想／または愛と制度と空間の関係	門脇 耕三 他	LIXIL出版	2015	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
22	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか 近距離移動が地方都市を活性化	村上 敦	学芸出版社	2017	助手	田島 洋輔	1年生			わが国では人口減少・高齢化が進む中、地域活力や医療・福祉等の生活機能を確保し、誰もが安心して暮らせるコンパクトなまちづくりが求められています。本誌では、コンパクトシティ先進国であるドイツの事例からショートウェインシティや自転車交通の推進、自動車交通の抑制と静穏化、分離化、結束化をキーワードに「車のないまち」の魅力を学ぶことで、わが国の都市のあり方を改めて考え直すきっかけとなる内容となっています。	1	フライブルグのまちづくり	村上 敦	学芸出版社	2007	
							2年生以上				2	ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか	高松平蔵	学芸出版社	2016	
							全学年	○	○		3	フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか	ヴァンソン 藤井由実	学芸出版社	2016	
											4					
											5					
23	庭木・街の木(ポケットガイド)	岡部 誠 巽 英明 堀越 禎一	小学館	1999	助手	西山 孝樹	1年生			ある“まち”の街路に、どのような樹木を植えようか、喬木にしようか、それとも灌木を選定しようか、街路の植栽は、その景観にも影響する大変重要な構成要素の一つです。タイトルの通り、ポケットサイズの本書を懐にしのばせ、まち歩きをしながら街路樹の名称を覚えてみてはいかがでしょうか。樹種を知っているだけで、まちづくりを実践する将来の現場で役立つことが大いにあるはずです。	1	葉形・花色でひける木の名前がわかる事典―庭木・花木・街路樹など身近な樹木433種	大嶋 敏昭	成美堂出版	2002	
							2年生以上	○			2	樹木図鑑 (NHK趣味の園芸)	北村 文雄	NHK出版	2001	
							全学年				3					
											4					
											5					
24	PUBLIC DESIGN 新しい公共空間の作り方	馬場正尊＋OpenA	学芸出版社	2015	助手	牟田 聡子	1年生			少子高齢化による人口減少で自治体の税収は減少し、公共空間の維持管理が困難になっています。本書は今まで行政が主となり計画・運営されていた公共空間を、様々な立場にたった実践者が事例を紹介しつつ、今後の新たな公共空間のあり方について述べています。また、その著者たちは30代から40代であり、みなさんの遠くない姿と重なります。知識だけでなく、著者たちの発想の源を探り、今後に活かしてください。	1					
							2年生以上	○			2					
							全学年				3					
											4					
											5					

25	農山漁村の景観分類―景観の秩序を読む―	今里悟之	京都大学学芸出版会	2006	教授	岡田智秀	1年生			本書は、日本の近代化によって失われる以前の「日本のふるさとの風景(原風景)」の空間構造と地名由来をわかりやすく解説した書である。欧米流の土木・建築技術が日本に移入されて久しい日本であるが、残すべき日本の原風景とその風景の特徴を物語る地名のメカニズムについて、あらためてその重要性に気づかされる内容が図説を通して分かりやすく解説されている。	1	風景学入門	中村良夫	中公新書	1982	
							2年生以上	○	○		2	日本の地名	谷川健一	岩波新書	1997	
							全学年				3					
											4					
											5					
26	小説 上杉鷹山	童門 冬二	集英社文庫	1996	教授	天野光一	1年生			ケネディ大統領来日の折、日本で尊敬する政治家はと聞かれ、あげられた上杉家の藩主、上杉鷹山の藩政改革の本。民とともに、産業改革も含めて地域づくりをした“政治家”の話。まちづくり、地域づくり、国づくりを志すまちづくり工学科の学生には好ましい教養書である。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					
27	不便から生まれるデザイン	川上浩司	株式会社化学同人	978-4-7598-1342-5C0350	教授	田中 賢	1年生			ユニバーサルデザインとは何かを、対極にある不便から考えた書籍である。不便は本当に排除すべき悪なのか、不便には益がないのか、不便で良かったことはないのかなど不便の事例を挙げて解説している。ヒューマンファクター、適合と習熟、ユーザビリティなど人間工学やユニバーサルデザインの基礎は押さえてある。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
28	パリ・旅の雑学ノート(カフェ/舗道/メトロ)	玉村豊男	中公文庫	2009	准教授	阿部貴弘	1年生			居心地の良い空間、使い勝手の良い空間、そうした空間があふれているまちこそ、魅力あるまちと言える。では、そうした空間をいかにして創り出すのか。まちづくりの技術者の腕の見せ所である。本書は、世界中の人々を魅了するパリにおいて、カフェ、舗道、そしてメトロに着目して、幅広い視点からその成り立ちを解き明かしてくれている。魅力あるまちを支える空間の創出に向けて、実に示唆に富んだエッセイである。	1	パリのカフェをつくった人々	玉村豊男	中公文庫	1997	
							2年生以上				2	パリ 旅の雑学ノート(2冊目)	玉村豊男	新潮文庫	1983	
							全学年	○	○		3	ロンドン 旅の雑学ノート	玉村豊男	新潮文庫	1983	
											4					
											5					
29	里山資本主義―日本経済は「安心の原理」で動く―	藻谷浩介 NHK広島取材班	角川書店	2013	助手	田島洋輔	1年生			少子高齢化や人口減少の進む中山間地域では、農業・林業等の衰退が著しく早急な地域復興が必要となっている。こうしたなか、里山から始まるエネルギー革命や貨幣換算できない物々交換の復権、地域でつながることでの本来の福祉社会などの重要性に目を向けて様々な事例を経済学者の視点でまとめた逸品です。グローバル社会の今だからこそ、里山里山の重要性やお金では測れないモノの価値を再認識してみませんか？	1	どうすれば環境保全はうまくいくのか 現場から考える「順応的ガバナンス」の進め方	宮内泰介	新泉社	2017	
							2年生以上				2	藻谷浩介さん、経済成長がなければ僕たちは幸せになれるのでしょうか？	山崎亮、藻谷浩介	学芸出版社	2012	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

30	田園回帰	藤山浩	農文社	2015	教授	高村義晴	1年生			本書は、島根県の中山間地域、過疎地域を対象に、その再生の方向を示すものである。都市においても郊外型住宅団地など、需要減少社会に伴う諸問題が噴出し、共通性が少なくない。至難に陥っているこれらの都市の新たな問題の糸口となる可能性を秘めている	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
31	コミュニティー・キャピタル	西口敏宏 辻田素子	光文社新書	2017	教授	高村義晴	1年生	○	○	都市の問題にアプローチするのに、コミュニティ論はもはや欠かせなくなってきている。コミュニティの捉え方として、本書は、新たな視点を持っており、実際の都市問題を深めるのに参考となり得る。またコミュニティが共有の知恵を蓄積するとの見方は、これから重要である。	1					
							2年生以上				2					
							全学年				3					
											4					
											5					
32	シビックプライドー都市のコミュニケーションをデザインする	伊藤香織 紫牟田伸子	宣伝会議	2008	助手	落合正行	1年生			18世紀にイギリスで生まれた「シビックプライド」、つまり「市民が都市に対してもつ自負と愛着」という考え方は、地域活性の切り札として注目されています。「まち」を愛することは、「まち」を熟知し、その魅力を他者に伝達することであり、観光の原点にあると思います。	1	シビックプライド2【国内編】——都市と市民のかかわりをデザインする	伊藤香織、紫牟田伸子	宣伝会議	2015	
							2年生以上				2	シビックエコノミー世界に学ぶ小さな経済のつくり方	石原薫（翻訳）	フィルムアート社	2016	
							全学年	○	○		3	日本のシビックエコノミー——私たちが小さな経済を生み出す方法	紫牟田伸子 ほか	フィルムアート社	2016	
											4					
											5					
33	エリアリノベーション:変化の構造とローカライズ	馬場正尊ほか	学芸出版社	2016	助手	落合正行	1年生			建築とまちづくりを結びつける書籍。人口減少社会の今、建物が余る時代といわれており、その中でリノベーションという考え方が広がりました。しかし、これまでは建築単体の手法論でしたが、これをエリア全体へと考え方をシフトしたのがエリアリノベーションです。「まち」という相対的な中で、どの建物をリノベーションすべきか、リノベーションすることで「まち」全体の価値向上を図ることを目的とした新しい手法論です。	1	CREATIVE LOCAL:エリアリノベーション海外編	馬場正尊ほか	学芸出版社	2017	
							2年生以上				2	リノベーションまちづくり 不動産事業でまちを再生する方法	清水義次	学芸出版社	2014	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					